

視力検査について

★ 練習をしましょう

* 楽に本が読める程度の明るい部屋で行います。

- (1) まず、近くで練習用の視標 (大きい輪) を見せて、「輪」の切れていることを教えます。
- (2) 「視標」を上・下・左・右の4方向に動かして、「輪」の切れ目の方向を、指か手または言葉で答えさせます。

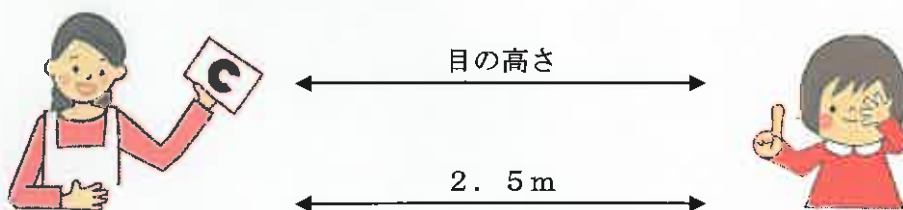
◎練習は両目を開けてしましょう。

◎「どこが切れているかな？」とききましょう。



★ 検査をしましょう

* 検査用の視標 (小さい輪) を使い、2.5mの距離でします。



- (1) まず、両目で検査をします。上・下・左・右の4方向を見せて答えさせてください。
- (2) つぎに、片目ずつ検査をします。お子さんが自分の手で目をおおうようにさせてください。

☆検査結果をアンケート用紙に記入しましょう。

検査がうまくできないとき

- 一度検査してうまくできなくても、何回か繰り返すと、なれてうまくできるようになります。嫌がるときは、別の日に検査してください。
- 「輪」の切れている方向がうまく指さしできないときは、練習用の視標をお子さんに持たせて、検査の視標と同じ方向に向けさせる方法で行われてもけっこうです。